

「ゼロカーボンシティ」を宣言

2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指します

金山町は、令和4年(2022年)11月3日に、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現に向け、地域全体で取り組むことを宣言しました。

環境省では、「2050年にCO₂(二酸化炭素)を実質ゼロにすることを目指す旨を首長自らが又は地方自治体として公表された地方自治体」をゼロカーボンシティとしています。近年、地球温暖化に起因するといわれる気候変動の影響から世界規模で

深刻な気象災害が発生し、甚大な被害を与えています。金山町においても、平成30年8月のたび重なる豪雨は災害を発生させ、町民生活に大きな影響と脅威を与えました。

今回のゼロカーボンシティ宣言を皮切りに、「水清き町」を次世代のこどもたちに引き継いでいくため、町民の皆さんと一体となって、2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指し、積極的に取り組みを進めていきます。



佐藤町長が宣言しました

ゼロカーボンシティ宣言
全文はこちらから！



●具体的な取り組み

短期・中期的な取り組み

(2030年までに計画的に取り組めます)

- ◎「金山町地球温暖化対策実行計画(区域施策編・事務事業編)」を策定
- ◎ごみ分別・減量化を強化推進
 - ・5Rの推進・紙ごみ、生ごみの減量化
- ◎省エネルギーの取り組みと健康増進
- ◎再生可能エネルギー技術の積極的な導入
- ◎農業への再生可能エネルギーの活用
- ◎環境教育の実施



5Rって？

- リフューズ**：ごみになるものを断ること
- リデュース**：ごみを発生させないこと
- リユース**：ものを繰り返し使うこと
- リペア**：ものを修理して使うこと
- リサイクル**：資源として再生利用すること

長期的な取り組み

(2031年から2050年までに取り組めます)

- ◎短期、中期的な取り組みの検証と、目標の達成度に応じた対策の検討
- ◎金山町の特徴にあった最新技術の導入
- ◎世界の潮流や技術革新の状況を踏まえて施策を講じる
- ◎可能な限り2050年を待たずに達成を目指す

●金山町衛生組合連合会の取り組み

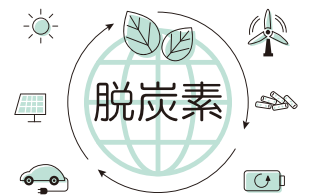
これまで進めてきた「ごみの減量化」を更に推進し、町民の皆さんにも取り組んでもらえるような活動を検討していきます。

- ◎住民参加型の省エネ運動などの実践
 - 例) エコドライブ教室・エコドライブコンテスト(個人・事業所)
 - ・エコクッキング教室など地域等での開催支援
 - ・ごみ分別、減量化の推進、集団資源回収への支援
- ◎地球温暖化対策の啓発
 - ・「かねやま衛生組合だより」による情報発信

脱炭素社会の実現には、一人ひとりのライフスタイルの転換が重要です。できるところから取り組んでみましょう。



地球温暖化対策の
取り組みはこちら



未来の
ために、
いま選ぼう。

金山町は地球温暖化
対策「COOL CHOICE」
に賛同しています。